

らいてうの家

…平和・協同・自然のひろば…

通信53号

2019. 10. 1

らいてうの家

〒386-2201 長野県上田市真田町長 1278-720

Tel・Fax : 0268-74-1385

NPO 平塚らいてうの会

〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20 5F

Tel・Fax : 03-3818-8626

星空観察会&コンサート

☆☆☆☆☆

8月2日(金)に今年はコンサートも入って楽しみました。



あいにくの曇り空で昨年のような素晴らしい星空には巡り合えませんでした。講師の塩沢崇先生の星のお話をじっくりと耳を傾けお聞きしました。夜空の下で雰囲気は最高でした。曇っていたので昨年ほど寒くなくて神話の内容を想像しながら空を眺めました。

また、4月のオープンで歌って頂いた安達寛子さんが、今回は夏の歌を中心に美しい声を聴かせて下さりとても良かったです。7時半夕暮れてきた頃戸外へ。

先生のコカリナ演奏に合わせて歌で始まり、かすかに星が見えたのですが、また曇ってしまいました。昨年が如何にラッキーであったか実感しました。でも、夢幻の世界に引き込まれた一夜であったことは確かであります。昨年、今年と2年連続で来館していただいた方もいらっしゃいます。来年に期待しましょう。

野口体操を体験

8月31日(土)講師に奥村直史さんをお願いして

野口体操は、東京芸術大学教授 野口三千三氏が考案した体操で、奥村氏は40代半ばからこの教室に通い、今も月に数回通っていらっしゃるとの事です。

この体操は、大自然と自分との関わりから新しい自分を見出すことでしょうか。らいてうの思想に近い 深い物があるようです。体験された青木俊子さん談です。

——奥村さんはまずビニール袋に水を入れて左右に傾けて見せてくれました。「人間の体は、この袋に入った水のような物です。さわると、ふにゃふにゃします。みなさんの体もふにゃふにゃしてみましよう」床に座り両脚を開いたり、両手を挙げてストーンと落としたり脱力感を体験しました。脱力する事は難しい事でした。普段余り使わない筋肉を使ったので翌日は筋肉痛でしたが気持ちは開放されたような気分でした。続けると身体が柔らかくなり、歳を重ねても転倒しないのではと思いました。お尻の筋肉だけで前進したり、後退したりも面白いですよ。——



2019 年最後のらいてう講座のお知らせ

⑤ 「らいてうの戦後日記を読む」

日時：10月12日(土) 13:30～15:30

場所：らいてうの家 (0268-74-1385)

講師：米田佐代子さん(らいてうの家館長)

大勢のご参加を
あずまや高原秋の味覚と共に
お待ちしております

参加費：

紀要12号：700円(購入済の方はお
持ちください)

資料代 :500円

らいてうの家大修繕終了

らいてうの家を建てて14年。初めての大修繕が終わりました。

おまけがありました。なんと玄関口の大屋根の下に直径30cmの蜂の巣ができていて、これも専門家にとっていただきました。誰も刺されないうちでよかった。と皆で胸をなでおろしました。

さて修理代の方は皆様のおかげで何とか目標額に近づいてまいりました。ありがとうございました。これであと10年は大丈夫かな？

庭の手入れの方もこれから考えていかなければならないかなと思います。大雪・強風・大雨等・・・地球環境の変化に伴って、らいてうの家も生き抜いて行かれるようにしなければ・・・

でも今年の夏は快適。上田は30度を超える日が続きましたが、あずまや高原は28度以下でした。



7月7日(日) 久郷ポンナレットさん 来館



昨年の女性文化賞に選ばれた久郷ポンナレットさんがご友人と共に来館され、1日じっくりと話し込んでいかれました。前日は上田市の市民フェスタで自分の体験を講演され、強くしなやかに逆境を生き抜いてきた姿に皆共感しました。1964年のカンボジア生まれで国会図書館長の父と高校教師の母を持ったポンナレットさんは内戦により両親と5人の兄弟を失い、幸い内戦前に日本に留学していた姉に助けられて15歳で来日。小中高校で勉強し、日本語で体験記を書かれました。久郷さんと結婚し二人の子どもさんに恵まれました。女性賞の賞金で40年ぶりにカンボジアを訪れ、家族が殺された村へ行き慰霊をしてきたそうです。ご著書『色のない空』をいただきました。図書室でお読みください。あなたはトカゲやムカデを食べられますか？